

Saidaiji JC Report



岡山ブロック 野球大会



2011年度ブロック懇親野球大会が行われました。

第1回戦は5月15日に社団法人玉野青年会議所と対戦しました。結果は接戦の末に勝利をおさめました。試合後の懇親会、玉野市立第七区小学校のグラウンドを準備、設営していただいた玉野青年会議所の皆さまには大変感謝しています。

第2回戦は7月10日に勝北町総合スポーツ公園野球場にて、社団法人津山青年会議所との対戦が行われました。当日は天候にも恵まれ暑い1日となりました。結果は惜しくも接戦の末に敗北。残念な結果にはなったもののメンバー一丸となり、結束を深められた1日になったと思います。この試合の設営をしていただいた津山青年会議所の皆さまには大変感謝しています。

試合経験の少ないメンバーが多いこともあり、1つ1つの試合、勝利で得られるものがたくさんあると思います。今年は2回戦敗退となりましたが、この2試合での経験を生かし、来年こそは地区大会へという思いを強く感じました。

地域連携委員会 中西 秀和

地区コンファレンス2011



地区コンファレンス2011

本年は、我がスポンサーJCIでもある岡山JCIによって盛大に開催されました。中国5県より、55の青年会議所約2,000名が一同に会し、各地の特色、文化など様々な色の青年会議所が重なりあう、非常にカラフルな大祭であります。本年は、福山JCIのメンバーでもある国際青年会議所会頭の原田憲太郎君の講演会も開催され、大変貴重な大会となりました。

メインフォーラムの金美齡氏の講演会「日本再生への提言」では、大変感銘を受けた部分がありました。それは「誇り」「感謝」「愛国心」についての事です。この事について深く説かれた時には、改めて今の仕事やJCIとしての運動について更に深く追求していかなければならない、最重要事項だと確信する事ができました。大変辛口なところもありましたが、故郷の台湾を愛し自国の日本を深く愛しているからこそその事で、親が子を叱る気持ちに相通じるところだったのではないのでしょうか。

大懇親会では大変素晴らしいご縁を頂く事ができました。昨年地区コンファレンスを主管された防府JCIの中村理事長様より、「門前まち青年会議所連盟」に加盟しませんかと井上理事長がお誘いを受けました。この会は門前町を抱える全国の青年会議所が加盟している部会だそうですが、こうした良縁を頂く事ができたのも、この大会のお蔭であると感謝致しております。

県をまたがり、LOMの垣根を越え、素晴らしい交友ができた1日となりました。

総務委員会 坪井綾広

7月例会



2011年7月13日に7月例会が行われました。7月例会は、地域連携委員会が担当となりました。また地域連携委員会が担当するサマーキャンプ直前の例会となり、設営にも力がはいるました。委員会アワーでは、サマーキャンプについての説明、質疑応答を行いました。

サマーキャンプは8月23日から24日にかけての1泊2日の事業となり、地域連携委員会にとっては、2011年で担当する1番大きな事業となります。またサマーキャンプは現役メンバーにとっては初の試みとなり、手順書の作成、事業準備には予想以上の時間が必要となりました。委員会アワー中にはメンバーそれぞれ、自分の担当の確認や手順書の中での問題点について、意見を出し合いました。ここで出た意見をもとにサマーキャンプについての手順書の見直し、問題点の改善を行っていきます。サマーキャンプ当日には、担当委員会以外のメンバーの手助けが必要となり、協力して頂くことを心より感謝します。この事業の成功をおさめるため、地域連携委員会一丸となりがんばります。

地域連携委員会 中西 秀和

サマーキャンプ2011



7月23日(土)、24日(日)にサマーキャンプに行ってきました。
岡山市、瀬戸内市の小学生20名、ボランティア2名、メンバー19名の計41名で津山の木もれ陽の森キャンプ場に行ってきました。この2日間は天候にも恵まれ、最高のキャンプ日和となりました。現代の小学生はテレビゲームなどの遊びが中心となり、自然とふれあう機会が減っていると感じます。今回のキャンプでは、子どもたちに自然とのふれあいや偉大さ、素晴らしさを知ってもらいたいと思い、川を使ったウォータースライダーや昆虫採集、アマゴの掴みどり、草花のスケッチなどを行いました。これらのイベントを通じて自然の素晴らしさを知ってもらえたと思います。また自分たちで捕まえたアマゴを、自分たちで下処理をし、串に刺し、バーベキューで食べたことはいい思い出になったと思います。

今回のキャンプは、運営させてもらった地域連携委員会のメンバーにとっては初の試みとなり、反省点も多かったと感じます。しかし大きな事故もなく、スムーズな運営を行えたことには、メンバー、ボランティア、キャンプ場の方など皆様方のご協力があったからこそだと感じています。この事業に関わり頂きました方々に深く御礼申し上げます。

地域連携委員会 國本 秀範



8月例会



8月10日に例会を開催しました。

当日は、オブザーバー3名の方に出席していただき、西大寺青年会議所がどのように例会をしているのか、どのような運動をしているのか、どのようなメンバーで構成されているのかを見ていただきました。

例会の後半では、委員会ごとに担当している事業の説明を行い、その後はメンバーが、西大寺青年会議所に入会した経緯や、入会して感じたことをスピーチ形式でオブザーバーの方に聞いていただきました。

西大寺青年会議所の運動内容や、例会内容を知っていただくことはもちろん大切なことですが、それ以上にメンバーとオブザーバーの方が直接会って話をする場を持つことにより、新しい繋がりが生まれるということはとても重要なことだと考えています。

この繋がりが今回だけのもので終わってしまうことがないように、今後もさまざまな形で青年会議所運動に参加していただける機会を作っていきたいと思っております。

会員拡大広報室 三枝 克守

卒業を前にして思うこと

直前理事長 小川 大志

本年度、直前理事長を務めております小川大志です。

私は2006年の4月、社長から「勉強になるからJCへ入会してこい」という一言と、入会申込用紙一枚を渡されました。青年会議所とは何か、どんな団体で何をやっているのかなど、何もわからない状態で西大寺商工会議所のドアを開けました。そんな私も本年度で40歳を向かえ卒業の年となりました。今、入会当初の新鮮な気持ちを思い出しています。

私が入会した年は、西大寺青年会議所が岡山ブロック会員大会の主管の年であり、入会したばかりの私はただ何も分からず毎晩毎晩、設営の作業を行っておりました。指示が無いと何もできない自分、どうせ来たのなら役に立ちたいと思う自分、毎日遅くまで準備をしている理事長や実行委員長の姿を見て、この方々はJCにどれだけの時間を割いているのだろう、と第三者のように見ている自分。様々な思いを抱きながら、まだ見たことも体験したことも無い会員大会の当日を迎えました。主管である会員大会の当日は、設営準備を短期間しかしていない私でも、JCの三信条である「修練・奉仕・友情」を強く感じるこのできる素晴らしい大会でした。この一瞬で終わってしまう一日のために、実行委員長、委員の方々はあるほどの時間と情熱を燃やして準備をしていたのかと、深く感動したことを今でも鮮明に覚えています。

私は運が良かったと思います。入会してすぐにこのような素晴らしい経験をしたのですから。後に、少年はだか祭り、周年記念事業、50周年記念式典と、仲間が増えるのと比例するように感動も感謝の念も倍増していきました。

冒頭に書いた、社長からの「勉強になるからJCへ入会してこい」という言葉からスタートした私のJC生活。いろいろな角度で勉強をさせて頂きながら、様々な方々と出会うことができ、そして助け助けられの関係。本当にJCっていいなと感じております。現役最後の年として、あと半年弱ではありますが明るく元気に頑張りますので、引き続きご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。

卒業を前にして思うこと

監事 小野田 竜也

私が入会したのは平成17年1月でした。入会のきっかけは、知人であった黒石先輩が「今年、自分は卒業するんだけど、人の輪が広がるから代わりに入ってみたら?」と言われ、「じゃあ、やってみます!」という理由で面接を受け、無事に入会する事が出来ました。

しかし、当時は33歳だったので「40歳まで7年か…。長いなあ…。続けられるかなあ…。」と入会出来たのは良かったのですが、私は会社員だったので、JC活動が出来る日もあれば出来ない日もあり、皆さんに迷惑をかけるのではないかと正直続けられるかどうか不安でした。しかし、周りの先輩方が「出来る時だけすればええよ」と言ってくれ、実際に「仕事が遅くなるので行けそうにないです…。」と言うと「大丈夫よ～」と優しく言ってくれて、甘えながら7年間続ける事ができました。

客観的に見られると笑われたり、怒られるかもしれませんが、自分の中では参加出来る活動には参加出来たと思っています。

7年間を振り返ってみるといろいろな思い出がありますが、一番印象に残っているのは西大寺主管で行われた会員大会と西大寺JC50周年記念大会です。少しではありますが企画、運営に携わり、大会が大成功した事が一番の思い出です。自分達が一生懸命練りに練った企画、演出が実際に形になって、皆さんに「良かったよ!」「感動したわ!」と言われた時は、今までの大変さや苦勞が報われたと思ひ自分自身も感動し、「やれて良かった!」と思ひ出します。

最も入会して良かったのは、西大寺JCの皆と出会えた事が自分にとっては一番の宝物だと思います。また、JCに入会して会社員ではわからない知識や常識的な礼儀等が勉強出来た事も大変良かったと思ひます。

最後になりますが、私から現役会員の皆さんにお願いですが、現在会員数が減少していく中、伝統ある西大寺JCを今後も継続すべく新しい風(新入会員)を入れてしっかり拡大し、継続して頂きたいと思ひます。もちろん、私も卒業してからも良い候補の人がいたら是非紹介したいと思ひます!

7年間、過ぎてみれば長いようで短かったJC活動でしたが、入会して本当に良かったと思ひます。そして皆さんにおかれましては本当にお世話になりました。

会員状況

全国 LOM 数 704 LOM

全国会員総数 36,516名

(平成23年8月1日現在)

うち女性会員数 2,068名

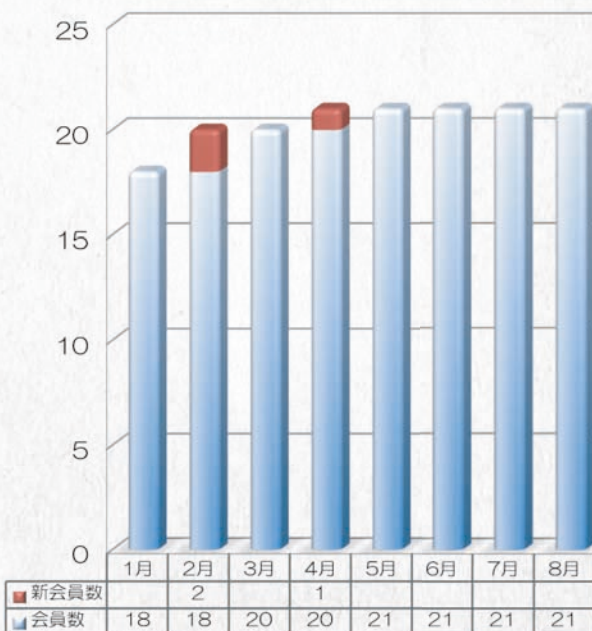
(平成23年8月1日現在)

西大寺 JC 会員数 21名

(平成23年8月1日現在)

うち女性会員数 0名

(平成23年8月1日現在)



発行日 平成23年8月吉日

発行責任者 井上 裕嗣

発行責任者 三枝 克守

編集責任者 長谷川 豪範

発行所 社団法人西大寺青年会議所